

政 と も に

発行によせて

市報第百号発行にあたり、ご愛読いただいている市民の皆様、ひとことお礼申し上げます。

美濃加茂市が、今日のように飛躍的に発展してまいりましたのは、一つは前市長渡辺栄一氏の卓越した政治手腕が、原動力となつていふことはいうまでもありませんが、市報を通じて市民の皆様が、市政を正しく理解し、力強く意欲的に協力いただいた賜でもあり深く感謝いたしております。

市報のあゆみをかえりみますと、第一号は



前市長（衆議院議員）
渡 辺 栄 一

「みのかも市報」が今月で百号を迎えられ、まずもってお祝い申し上げます。

行政広報のもつ重要性は、いまさら申し上げるまでもなく、住民と市政府をつなぐ重要なキツナであり、パイプであり、その代表が広報紙と言えましょう。

私が昭和二十九年、市長に就任間もないころ、旧町村単位でバラバラになつてゐる意識を統一し、一体性を確立するために、広報担当者と共に、夜を徹してレイアウトから、文章づくりをし、皆さんのお手許へ自治会長さん、班長さんの手を煩わし、配付申し上げた当時を思いだすと今でも胸のせまる思いです。

それが今では百号、この間、市民の皆さんのご支援のたまもので、今日まで、はぐくまれてきたものと思ひます。

今では、「広報みのかも」から「みのかも市報」に、紙片もタブロイドからB5版に改められ、また、予防接種の通知など市報がその役目を受けもって、個人通知をはぶく——という事務の合理化までやつてのけてゐる。まことに積極的で、ご同慶のいたりです。

私は、この市報が発行されるころには、衆議院訪仏親善団として、一行八名をひきつれて、欧米十二か国十八都市の視察の途中で、ドイツのフランクフルトにゐると思ひます。

この機会に、民主行政には欠くことの出来ない「行政広報」を、つぶさに、見てまいりたいと思ひます。

皆さんの生活・思慮・モラルが、複雑・多文化し、階層的に分別している今日行政広報の進むべき道は、相応の困難が予想されますが、市民の皆さんのご協力と、キメ細かく汲み上げる市担当で、今後も、よりよい「市報」が刊行されることを祈念します。

市報第百号が発行されるにあたり、わたくしは議会を代表して、まずもって市当局にお祝い並びにお礼申し上げます。

かえりみますと、市報は、市制施行直後に第一号が発行されてから十三年、常に議会のごききを通達にとらえ、また内容を正確に知らせる、議会広報の一つとしても重要な役割をしてきました。

議員以外の一般市民のみならず

伸びゆく市

市報100号



美濃加茂市長 岸 東 八 郎

昭和二十九年の市政施行直後に発行されています。以来十三年の年月を経たこの十月号が第百号として、皆様のご家庭の話題になろうとしています。

この間、市報は皆様に市政のうきを知らせる広報紙として、市長、市政、市民をつなぐパイプの役割りをしてきました。

このパイプは、市報の使命（市政の実態を説明しそれを理解していただくこと）によって市民の皆様の協力が生まれる一環でもあります。わたくしは、前市長渡辺栄一氏から市政を引きついでとき、とくに前市長の広報に対する強い信念と、情熱に共鳴するものがございました。

「市民に親しまれ、より多くの人に読まれる広報紙」これは、わたくしの市報に対する理想であり主張でもあります。

ことは、十五年先あるいは二十年先の都市づくりをめざして、マスタープランを樹立する年でもあります。

少ないスペースの中ではありますが、できる限りくわしく市報に発表していきたいと思っています。

市民の皆様は、市と市民を結ぶ窓口として市報を大いに活用、将来の都市づくりになお一層のご支援ご協力をお願いします。

市報100号を祝す

市議会副議長 藤掛 勝
同議員（議席順） 大 畑 邦
渡 宮 鈴 邦
若 野 鈴 邦
大 野 鈴 邦
藤 吉 鈴 邦
小 野 鈴 邦
渡 野 鈴 邦
長 村 正
三 品 正
日 江 正



市議会議員 森田 順一

は、議会の橋樑を直接橋渡しする機会が少ないため、議会で審議された内容は、すべて市報によって理解していただいています。

しかし、身近な市町村行政について、無関心に近い人も少なくありません。

市民の皆様も、わたくしは市議員ともども、市報をよくみて市政のうきを見守り、明るく豊かなまちづくりにご協力ください。

また、市報担当者も市民に親しまれ、読まれる広報紙となるよう編集していただきたいと思っています。

次 守 雄 郎 栄 造 文 一 進 悟 調 一
日 則 渡 川 三 板 渡 山 三 佐 堀 林 大 渡
比 竹 辺 合 浦 津 辺 下 品 光 部 矢 辺
野 敏 文 利 謙 安 惣 秋 松 正 好 大
民 夫 雄 桂 郎 正 横 吉 夫 郎 男 次 芳

よりよい市報づくりのために

出席者（順不同）

林 幸 市（太田町）

堀川 芳 郎（蜂屋町）

土屋 幸 枝
（下米田町）

紙上参加

増井 久 晃（伊深町）

荘加 甲子夫（三和町）

市 長 岸 東 八 郎

司 会 石 嶋 勝
（秘書企画課長）

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

市報の

とじこみ表紙が欲しい

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

くらしに役立つ

みのかも市報

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

堀川 予防注射が載っているの
みまさんの……
土屋 家事に追われて、あまり読
みまさんの……
堀川 予防注射が載っているの

つ家庭では心配していますから
堀川 木曾川右岸用水の記事は、
受給地の農家にとって、役に立っ
たと思います。
ことしの干ばつで田植が出来な
いとき、右岸用水の必要性をし
みじみと感じました。

マスタープランは

みんなが期待

司会 市報の内容は、どんなもの
がよいでしょうか。現在は市が行
なっている、最も大きな事業や行
事をとり入れたら、季節的なもの
(入学準備、水害、台風)の心がまえ
をお知らせしたり、予防注射や年
金などを毎月掲載していますが、
土曜 予防接種は、続けて欲しい
と思います。

しかし、レントゲンによる結核
健康診断の結果が、個人あてに送
知がなかなかないで、老人な
どはとくに心配しているようです。
どんな問題でも計画だけでなく
実施された結果も必要だと思います。
林 国策は、このごろこの家庭
でも手がけてみえるようです。
やはり、市政のことばかりでな
く、この種の記事も必要です。

堀川 マスタープランをそのうち
に発表されることと思いますが、
市民は、美濃加茂市の将来に大
きな期待をもっています。
プランが実現したら、なるべく
細かくお知らせください。
市長 さきほど申し上げましたよ
うに、市の将来の大計は、いま樹

市長 右岸用水は、今年度中に着
工になりますので、その備前は遠
からず解決すると思います。
右岸用水が完成すれば、畑地か
んがいにもとより、山の上の果樹
地帯、牧草地開発による畜産振興
など、夢が多くてできます。

立する絶好の機会だと思っています。
広い見地から見た、総合開発計
画は、魅力ある美濃加茂市づく
りの根本となります。

これも市民のみなさんの、ご支
援、ご協力あって始めて樹立され
るものですから、よろしくお願
いします。
増井 市報の趣旨とか、紙面の都
合で支障を生じてくる事と思いま
すが、何か良い通信機関などを設
けて、小さな善意にせよ、また社
会の教訓になるような記事をとら
えてみてはどうか。

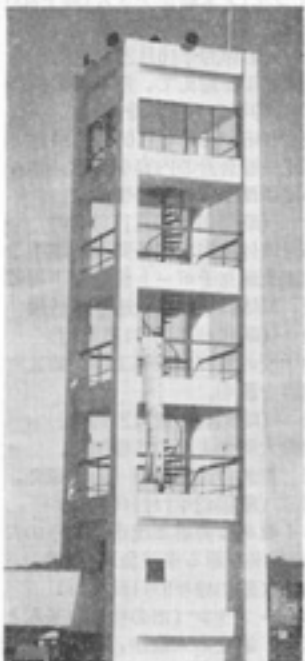
また、各町を巡回していろいろ
話題になっていることを取り上げ
て、ローカル色を盛り込んではい
かがでしょうか。
司会 それでは、現在の市報の内
容はいかがでしょう。
堀川 市報を読んでいる人は、中
学生から老人まで幅があります。
よみやすく、わかりやすいことが
だいじな事だと思っています。
週刊紙や、日刊新聞までにい
なくても、写真はもっと取り入れ
ていただきたい。
土曜 小さなお子さんがある家庭
は別として、だいたいのご婦人方
はあまり市報を読んでみえないよ
うです。市報は「固苦しいもの」
といった先入感があるのと、家事
に追われて「読むひまがない」と
いわれる方が多いですね。
婦人に興味のある記事を考えて

予算があれば

「カラー」にしては！

司会 よりよい市報づくりとか、
広報活動を進めていく上に、何か
よい考えはありますか。
林 「市報はこうあるべきだ」と
いうことは知りませんが現在の
ままではよいのではないでしょう

みられたらどうでしょう
うか。
林 生活に結びついた
記事は、今後も続けて
いただきたい。
堀川 毎月の市報に、
次の月の問題やテーマ
をとり上げて、みなさ
んのご意見を聞かれた
らいかがですか。
市長 市政は、市報に
よって知ったという
意見を各町で聞きます
わたくしは、みなさん
のいろいろなご意見を
よく聞いて、身近な問
題から、とり上げて、
自慢できる市報にした
いと思っています。



土曜 大事なことが多く載って
いるので「一日」には各家庭に配
されるよう早めに発行してくださ
い。
増井 市報も写真を多く使われる
ようになりましたが、なにか「暗
い」という感じがします。経費の
許す場合カラーにしてはいかが。
堀川 市政と市民のつながりを深
めるためにも、もっと内容を充実
していただきたい。
庄加 ざっくりいって、市報はあま
り読まれていないと思いますね。
読まれない理由は、第一に「日
刊紙にあるニュース性が乏しい」
ということ。第二に「親しみやす
い記事が少ない」、第三に「興味

ある記事が少ない」と思っています。
これは、岐阜市においても、県
下各市町村においても、同じこと
がいえそうです。ここに行政広報の流
きどころがあるわけですね。
しかし、いままですぐの原因を改
善しようとしても、それは無理な
ことです。原因を一つ一つ掘り下
げて読まれる市報づくりをして
ください。
市長 市では市報に欠けたニュ
ース性を、有線放送(農協にお願
いして)NHKの「お知らせ」の
時間などを利用して、広報活動の
効果がある方法をとっています。
また各町に広報車を巡回させたり
市街地には災害時に限り望遠の
スピーカーを利用したりしています
が、今後いろいろなと研究して内
容のある市報づくり、広報活動を
進めていきたいと思っています。

市報第1号から第100号まで

第1号 (昭和29年8月1日発行)

記念すべき第1号は、渡辺栄一市長の飛躍的に発展しようとする市の構想を発表。

第2号 (昭和29年8月20日発行)

29年度予算(1億7千111万8千余円)成立記事に掲載。

第3号 (昭和29年10月1日発行)

市民福祉を骨子とする市の計画発表

第4号 (昭和30年1月1日発行)

渡辺市長・岸東八郎議長年頭の挨拶いろいろの行事お知らせ。

第5号 (昭和30年3月10日発行)

29年度最終市議会の記事。この議会で議員定数が「30名」となっています

第6号 (昭和30年4月20日発行)

市制施行後初の市議会議員選挙が行なわれ、初代議長に竹森貞一さん(三和町)副議長に森田順一さん(加茂野町)が選ばれた、市議選記事が中心となっている。

第8号 (昭和30年8月20日発行)

美濃加茂音頭、ライン音頭の入選作を発表。

第9号 (昭和30年10月10日発行)

三和町・山之上小・北中の校舎合同落成式の記事が中心。

第11号 (昭和31年4月10日発行)

31年度予算(1億4千877万円)が成立した記事が中心。

第14号 (昭和32年7月1日発行)

皇太子殿下が「ライン下り」に市へ行啓になる記事掲載。

第15号 (昭和33年1月1日発行)

市長・議長年頭の挨拶と32年の十大

ニュースを掲載。

第21号 (昭和34年8月15日発行)

第3回定例市議会で、市庁舎・東中学校など重要案件を可決した議会記事に掲載。

第22号 (昭和34年9月29日発行)

伊勢湾台風の災害状況を細かく掲載「特報」として4回にわたって発行。

第28号 (昭和35年6月10日発行)

名誉市民「津田左右吉博士」の経歴と顕彰式(5月12日)の内容を掲載。

第34号 (昭和36年5月15日発行)

市役所新庁舎しゅん工を祝して、庁舎内容を紹介(特集号)

第41号 (昭和37年3月13日発行)

市政8年のあゆみを、年度別に特集して掲載、29年から37年までの市沿革が一目でわかる。

第49号 (昭和37年12月25日発行)

渡辺栄一市長の欧米都市視察だよりと「美濃加茂市の歌」の入選発表。

第55号 (昭和38年8月5日発行)

第12回県下都市体育大会が、当市で開催されることになり、競技種目や会場など説明(8月17・18日に開催)

第58号 (昭和38年12月2日発行)

渡辺栄一市長が衆議選に立候補のため市議会の同意を得て辞任、退任の挨拶を掲載。

第59号 (昭和39年1月1日発行)

市報は、この59号から現在のB5版に改訂。市長選挙で四代目市長に岸東八郎氏が当選、新市長の抱負を掲載。

第60号 (昭和39年3月2日発行)

飛騨・木曽川国定公園が3月3日に指

定され、この国定公園を写真で紹介。

また、この号から40年に開催される岐阜国体に協力を呼びかける一方、紙面の中に「お知らせ」欄ができた。

第61号で新収入役井戸市郎氏を紹介。

第66号 (昭和39年10月7日発行)

オリンピック 出場の 渡辺保夫さん(レスリング)と木崎正子さん(陸上800m)の健闘を折る記事に掲載。

第67号 (昭和39年10月29日発行)

市政10周年を迎えて、岸市長の挨拶記念行事、10年のあゆみを掲載。

第70号 (昭和40年4月10日発行)

40年度一般会計の内容を掲載。おもなものは伊深小学校改築事業費。

第76号 (昭和40年10月11日発行)

第20回国体に出場する郷土の選手を紹介、加茂高女子ボート優勝記事掲載

第77号 国体特集＝郷土選手の活躍

第88号 (昭和41年10月1日発行)

西中学校の新校舎建築工事が始まりその内容を説明。

第89号 (昭和41年11月2日発行)

新助役大野光夫氏の挨拶掲載。

第90号 新教育長登見臣一郎氏紹介。

第91号 (昭和42年1月1日発行)

明るく豊かな美濃加茂市づくりのため「市の将来を語る座談会」を掲載。

第99号 (昭和42年9月1日発行)

マスタープラン(市の将来の基本となる計画)論文の入選作、市民意識調査の結果を発表。

第100号 (昭和42年10月1日)

100号までのあゆみ。

(おもなものを抜粋)

雑感

広報係

ご愛読いただいている市民のみならず、すでに九月号が発行されたとき、「次号は第百号」とお気づきだったと思います。

ご存じのように市報は、市政とともに歩み、市政のうごきを見ながら、市民の生活と行政を結びつける役割を担っています。

市報が歩いてきた道をみると、第一号は、市政が施行された昭和二十九年八月にうぶ声をあげており、第百号は、十三年経たこの十月号ということになりました。

この十三年間、市報はみなさんにいろいろのご批判をいただいたり、また励ましの言葉をもらったりして育てられ、常に「読みやすく、わかりやすい市報」にしようという力が続けられてきました。

当初は、年三回発行で進められてきた市報も、現在は毎月発行になり、紙面の大きさも第一号から第五十八号(三十九年十二月号)まではタブロイド版、普通紙の新聞紙が二つ折り大の大きさで、編纂が行なわれてきました。

しかし、第五十九号から「もっと見やすく保存しやすいように」と現在のB5版に改訂されました。

市報の創刊は、前市長渡辺栄一氏が合併して興のない繁忙時に卓越した手腕で市政を推進しつづ、広報に寄せる強い信念と、旺盛な意欲をもって、広報事務を指導、発行への第一歩を陣頭指揮されています。

さらに、渡辺前市長からバトンされた岸東八郎現市長は、前市長の広報に寄せる信念と、意欲を引き継がれ、向一顧広報紙が充実するようカメラ、キーレコーダーなど取材器具を積極的に購入されています。

また、市報のもつ内容を、次のように力説しておられます。

市民のにおいがして、しかも、肌やわらかく生活に欠かせない広報紙。この岸市長のキャッチフレーズのもとで、市報は地味ながらも市民のみなさんに愛読していただける広報紙として「よりよい市報づくり」に努力してまいりました。

今後とも、続けてご愛読くださいますよう、よろしくお願いたします。

市役所窓口ご案内

- 戸籍、住民登録の届け出と謄抄本の交付、印鑑証明書、住居表示、配給、交通安全などのご用のある方は……市 民 課
 - 生活保護、児童福祉、身体障害者福祉、社会福祉協議会、国民年金、遺家族などの援助、保育所入所、共同募金、心配ごと相談などのご用のある方は……福祉事務所
 - 予防接種や、防疫、消毒、国民健康保険・市営住宅の申し込み、ゴミ、し尿処理のことは……保険厚生課
 - 市民税・固定資産税、バイク・耕運機のナンバー取り付けなどご用のある方は……税 務 課
 - 市費の出納、用度のことは……収 入 役 室
 - 火災・防火のことは……消 防 署
 - 市長や助役にご用のとき、または市の総合開発計画、市報みのかもなどにご用のある方は……秘書企画課
 - 土地改良、林道、治山・砂防のことは……耕 地 課
 - 水道の申し込みや料金のこと、断水、漏水のときは……水 道 課
 - 道路や橋、都市計画、土地区画整理、用排水、建築確認申請、失業対策事業、治水のことは……土 木 課
 - 農業・林業・畜産・養蚕・果樹・園芸のことや、農業構造改善、農業金融、農業委員会などにご用のある方は……農 業 課
 - 商・工業や観光、資金融資、工場誘致などにご用のある方は……商 工 観 光 課
 - 行政、文書、選挙のことは……総 務 課
 - 市議会のことは……議 会 事 務 局
 - 小・中学校への入学のことや学籍のことは……学 校 教 育 課
 - 青年団、婦人会、こども会など社会教育団体のことや、図書館、文化財保護、各種体育大会、市営結婚式場、キャンプ場の申し込みなどは……社 会 教 育 課
- 古井・山之上・特選・加茂野・伊深・三和・下米田の各連絡所は、市民生活に直接関係のある窓口事務を取り扱っています。

市役所のしくみ・しことは、美濃加茂市が飛躍的に発展するにつれて複雑多岐になってきています。そこで、市民のみなさんのご不便を少しでも解消しようと、「私たちの市役所のしくみとしこと」を、第百号の特集として掲載しました。

市役所のしくみとしことは七・八・九十面をこらしてください

市長	岸 東 八郎	副市長	大 野 光夫	収入役	井 戸 市郎	教育長	鷺 見 臣一	秘書企画課長	右 嶋 勝	秘書課長	安 田 清司	総務課長	森 田 耕平	庶務課長	川 合 良樹	事務機械係長	福 住 幸男	市民課長	福 田 修一	戸籍係長	小 栗 三郎	税務課長	高 橋 三郎	課長補佐兼固定資産税係長	渡 辺 一良	市民税係長	尾 石 孔三	徴収係長	渡 辺 俊彦	土木課長	亀 井 初夫	課長補佐兼庶務係長	大 矢 富美雄	課長補佐兼技術係長	安 藤 千康	都市計画係長	馬 場 博一	建築係長	高 橋 和男	区画整理係長	高 橋 和男	耕地係長	渡 辺 悠治	農産課長	杉 本 繁
課長補佐兼農政係長	藤 吉 誠之	課長補佐兼民生課長	渡 辺 高井	課長補佐兼保健係長	渡 辺 誠之	厚生係長	板 津 向	商工観光課長	朝 井 日	商工観光係長	高 井 日	福祉事務所長	奥 野 正	母子寮長	今 井 大	収入役室長	渡 辺 貞夫	議事事務局長	渡 辺 心一	消防長兼消防署長	渡 辺 博	消防司合備	高 橋 丈	消防司合備	渡 辺 雅	学校教育課長	大 矢 品	学校教育係長	加 藤 野	社会教育課長	加 藤 野	課長補佐兼庶務係長	渡 辺 三	古井連絡所長	三 品 信	山之上	西 田 健	加茂野	高 井 照	伊 深	三 和	下米田	山 田 文	下米田	大 勇

(昭和四十二年十月五日現在)

各課ご案内

市民課
福祉事務所

市民課

市民課は、一階北側にあって、その名が示すように、市民の皆様と一番深いつながりをもっています。市民課には、戸籍係と市民係、交通対策係があり課長以下十一名

保険厚生課
福祉課

保険厚生課

保険厚生課は、一階北側にあって厚生係と、国民健康保険係の二係にわかれ、課長以下十二名で構成されています。おもな仕事は、次のとおり

で構成されています。

(戸籍係)

戸籍係は、指図から届け出される「出生・死亡・転入・転出など」届出書によって、戸籍簿・住民登録簿を作成する係です。ご家族の異動などで、次のような届け出をする場合は、必ずその期限を守ってください。

出生届 十四日以内
死亡届 七日以内
転入・転届届 十四日以内
婚姻・離婚・養子縁組・転籍・転出届 随時(なるべく早めに)

戸籍簿が発行する証明書の料金、戸籍簿抄本 一枚が四十円

公衆衛生 1. 尿とゴミの処理

取次所 1. 尿 電六〇〇一三
取次所 2. ゴミ 電五二九七

環境衛生 1. 蚊、ハエなどの駆除
予防衛生 1. 結核予防(レントゲン検査) 伝染病予防(日本脳炎、小児マヒ、ジフテリアなどの予防接種)

乳幼児・妊産婦の指導
成人病対策 1. 胃、子宮がん検診
火葬場・墓場の管理

布衣登録と狂犬病予防
市営住宅の管理と運営
災害救助措置

国民健康保険料の賦課・徴収
葬祭費、助産費の支払いなど。

日曜健康保険

住民票簿抄本 一枚が五十円
印鑑証明書 一通が五十円
転出証明書 一通が五十円

(市民係)

市民係は、市民相談、市街地の住居表示を改める事務がももものです。

(交通対策係) 交通対策係は交通対策の推進と交通相談などのためとし四月に新設されました。

福祉事務所

福祉事務所は、一階北側の中央にあって、福祉係と国民年金係があり、所長以下十名で構成されています。

総務課

総務課は、二階南側中央にあって財政係、庶務係、事務機械係にわかれ、課長以下十九名で構成されています。おもな仕事は、次のとおり

予算の編成と執行
文書の収発・保存
選挙事務 選挙管理委員会

市有財産の維持・管理
事務機械の操作・管理 計算印刷、事務合理化など

その他、電話交換事務、自動車の管理、庁舎管理などの仕事が行なっています。

税務課

市の台所を預かる税務課は、一階南側より西にあって市民税・固定資産税・徴収の三係にわかれ課長以下十九名で構成されています。おもな仕事は次のとおり

(福祉係)

福祉係は、福祉六法の定めにしたがって、保護・育成・または更生の処置を行なっている係です。おもな事務は、生活保護・児童福祉(保育所、母子寮など)、母子福祉(老人福祉、身障者福祉、精神障害者福祉)などです。

このほか、

- (1) 戦没者遺家族援護
- (2) 心配ごと相談所の開設(毎週木曜日、中央公民館、無料)
- (3) 小口金融(低所得者へ(無利子))
- (4) 歳末同朋会を奨励
- (5) 世帯更生資金の金融手続きなどを進めています。

(年金係)

年金係は、福祉年金(掛金をしないで受ける年金)と、拠出年金(掛金をして受ける年金)事務などを進めています。

税務課

市の台所を預かる税務課は、一階南側より西にあって市民税・固定資産税・徴収の三係にわかれ課長以下十九名で構成されています。おもな仕事は次のとおり

市民税・固定資産税・軽自動車税・電気ガス税・タバコ消費税・飲酒税・木材取引税の七つの普通税の賦課(割り当てる)徴収

税金は、課税の公平が最もたいせつなことです。

市税の異議申請は、令書が発送後三十日以内に、市税の軽減申請は早めに申し出て下さい。

消防署

消防署は、一階南側東端にあって、消防長以下十七名で、市民の生命・財産を火災・水害・地震から守るために、昼夜の別なく防犯と予防にあたっています。



消防署

消防署は、一階南側東端にあって、消防長以下十七名で、市民の生命・財産を火災・水害・地震から守るために、昼夜の別なく防犯と予防にあたっています。

(古井町に森山出張所があります)

署には、水そう付消防ポンプ自動車が一台中、普通消防ポンプ自動車が一台中、災害時に機動力性を発揮しています。

消防署と一体の消防機消防団は、署と同じような任務をもち、常に災害に対して市内八分団の精鋭がいつでも出動できるよう、体制を整えています。

団本部

消防団(一八) 二百五十六名
消防団(二八) 二百五十六名
消防団(三九) 二百五十六名

消防団(四〇) 二百五十六名
消防団(四一) 二百五十六名
消防団(四二) 二百五十六名

消防団(四三) 二百五十六名
消防団(四四) 二百五十六名
消防団(四五) 二百五十六名

消防団(四六) 二百五十六名
消防団(四七) 二百五十六名
消防団(四八) 二百五十六名

消防団(四九) 二百五十六名
消防団(五〇) 二百五十六名
消防団(五一) 二百五十六名

消防団(五二) 二百五十六名
消防団(五三) 二百五十六名
消防団(五四) 二百五十六名

消防団(五五) 二百五十六名
消防団(五六) 二百五十六名
消防団(五七) 二百五十六名

土木課

土木課は、二階北側西よりあつて、庶務・技術・都市計画・建築・土地改良・用地係の六係からなり、課長以下二十二名で構成されています。

土木課の仕事は住みよい郷土をつくる土木事業を推進しているところで、市予算の約二十一億一億三千四百四十万六千円が投入されています。ことは、とくに、次の事業が推進されています。



道路の新設・山手線、若宮一深市道の舗装
田線など
都市排水Ⅱ（二子排水（長吉井）野
排水（下西井）平手
排水（太田北新町）
太田駅前排水
区画道路一ノ瀬排水
（OS通り）

このほか、橋りよう、小河川の改修、区画整理・失業対策、災害復旧事業などが行なわれていた。また、市有財産の登記とか一般住宅の建築確認申請も受け付けています。

秘書企画課

秘書企画課は、二階南側東よりと北側東にあつて、秘書係と企画調査係の二係からなり、課長以下十一名で構成されています。

秘書係は、市長・助役の秘書および外部との連絡・交渉をはじめ、職員、表彰、自治会運営など幅広い仕事をしています。企画調査係は、総合開発計画案（マスタープラン）づくりと、市報編集、開発公社の事務などをこなしています。

商工観光課

商工観光課は二階南側にあつて課長以下五名で構成されています。おもな仕事は次のとおり
(1) 商工業発展のため融資をあっせん
(2) 工場誘致、次はこし誘致した工場いずれも牧野地内

株式会社エツク（操業七月）

資本金 一千万円
製造品 コンデンサー

〇関戸機機株式会社（明年三月）

資本金 三千万円
製造品 建設機械部品

〇ダイドウ株式会社（操業九月）

資本金 五百万円
内容 羊毛糸加工

(3) 観光事業の推進

ライン下り、山之上果樹狩りの宣伝、伊藤温泉、市北部山間部の観光開発、観光施設の充実

(4) 日本ライオン会花火大会、み

のとも踊り大会の計画・推進

(5) その他商工業に関する諸統計

農産課

農産課は、二階南側西よりあつて、農政係と農産係があり、課長以下九名で構成されています。おもな仕事は次のとおり
(1) 農業構造改善事業の推進（加茂野土地改良区・山之上橘産果所の工事着工）

(2) 農業委員会 農地転用はか

(3) 市の農業の将来計画を樹立

(4) 農業金融制度の利用による農業

(5) 農業婦人学校の開設（七月から開設、七百五十人参加）

(6) その他、六月のかんばつ対策、

四十二年七月豪雨対策・西部陸奥

飼育所などの諸事業が推進されて

います。

教育委員会

教育委員会は、三階南側にあつて、学校教育課（課長以下六名）と社会教育課（課長以下四名）で構成されています。事務局の仕事は、学校教育・社会教育全般について、企画・指導しているところです。

おもな仕事は次のとおり

(1) 学校教育全般の企画・指導・管理

(2) 教育施設の維持管理

(3) 青少年の健全育成

(4) 社会教育団体（青年・婦人・こども会など）の指導・育成強化

(5) 社会体育の振興（総合体育大会スポーツ教室の開催）

(6) 各教養講座の開催

耕地課

耕地課は、二階北側にあつて課長以下六名で構成されています。おもな仕事は次のとおり
(1) 本曾川右岸用水事業を推進
(2) 農業構造改善事業推進（加茂野）
(3) 一般耕地改良・災害復旧・林道開設・治山砂防・老朽タメ池などです



水 耕 農
道 地 産
課 課 課

水道課

水道課は、二階北側中央にあつて、庶務係と技術係にわかれ、課長以下十五名（内三名は水源地）で構成されています。庶務係は、水道使用料の徴収、量水器の検針を行なっています。技術係は、浄配水場の管理や給配水工事、水質検査などを行なっています。

また、伊深橋用水道の管理、運営もこの課がしています。

なお上水道の給水装置の工事をする場合は申込手数料百円を徴収して水道課まで申し込んでください。許可なしに工事すると、給水もせず、さらに十万円以下の罰金が課せられることがあります。

収入役室

収入役室は、一階南側にあつて室長以下五名で構成されています。収入役室は、一口にいうと市の出納事務を行なっているところで物品の購入・管理もしています。

連絡所

連絡所は各町にあつて、所長以下三十四名で構成されています。

おもな仕事は次のとおり

(1) 戸籍・住民登録・国民年金・国民健康保険事務についての本庁へ取り次ぎ

(2) 母子手帳交付など取り次ぎ

(3) 印鑑届の受けつけ証明書の交付

(4) その他、市長から命ぜられた事務など



教育委員会
議事事務局
収入役室
連絡所



年末融資に公庫資金を

申し込みは、なるべく早めに

商工業の方で、国民金融公庫資金を借りて、設備資金・運転資金にしようと思望してみえる方は、なるべく早めに商工会へ申し出て下さい。

借入希望者は、あらかじめ商工会で指導をうけて、借入日などを指定しておくと一層便利です。

申し込み期日
第一回締め切り 十月二十日
第二回締め切り 十一月十日

おしらせ

期 間 設備資金七年以上
申込用紙 市商工会にあります
このほか、環境衛生業の方には、特別な制度も定められています。

しかし、二重借入れの場合は残高が三分の二以上返済されていることが望ましいとされています。

また、設備資金・運転資金を借入れた方で、目的以外に使用すると、約定違反として「即時全額一時返済」が要求されますので、資金運用については十分注意して適正に使用して下さい。

詳しくは、市商工会（第五十二一、一、内線五三）でお尋ねください。

住みよい郷土をつくる

『郵便貯金』加入のおすすめ

十月一日から三十一日までの一カ月間「住みよい郷土をつくる郵便貯金奨励運動」が、全国各地で展開されます。

美濃加茂郵便局では、この期間に郵便貯金のはたらきを皆様にお知らせするとともに、郵便貯金加入者の増強運動が行なわれます。

郵便貯金のはたらき

(1) 将来、豊かな生活を築く資金
(2) 住みよい郷土をつくる資金
市では、今までに郵便貯金の資金運用部から、融資（土木・教育関係など）をうけて建設費にあてています。

現在までに資金運用部から融資を受けた金額を累計しますと二億九千四百四十五万円にのびます

期 間 設備資金七年以上

申込用紙 市商工会にあります

このほか、環境衛生業の方には、特別な制度も定められています。

しかし、二重借入れの場合は残高が三分の二以上返済されていることが望ましいとされています。

また、設備資金・運転資金を借入れた方で、目的以外に使用すると、約定違反として「即時全額一時返済」が要求されますので、資金運用については十分注意して適正に使用して下さい。

詳しくは、市商工会（第五十二一、一、内線五三）でお尋ねください。

ご協力ください

31日から物価統計調査

全国物価統計調査が、十月三十一日から十一月九日にかけて実施されます。

全国物価統計調査に、調査店舗として選定された商店は、積極的な協力をお願いいたします。

この調査は、全国すべての市（五百六十五）と都道府県ごとに抜き出した町村（二百五）を合わせた、七百七十の市町村を対象として行なわれるもので、百貨店・スーパーマーケットなど約二十万の小売店舗を選定し、主要な商品やサービスの価格・販売数量などを調査するものです。

これは、住民の消費生活のうえで重要度の高い、しかも品質・価格において代表性のある品目を選び、価額や販売数量を調査する。消費者物価についての基本的な大調査です。実地調査には、調査員が店舗を訪れ、調査表を配付、説明して記入を依頼します。

おことわり

今月は第百号記念特集号発行のため、市報が各家庭に配布されるのが、たいへん遅くなりました。あしからず、お許しください。

また、事故は訴える・学校訪問調査は、都合で休ませていただきました。なお市報についてご意見・ご要望のある方は、秘書企画課広報係へお気軽に申し出ください。

10月の

広報メモ

十月のことを和名で「かみなづき」（神無月）といいます。

この月は、一年中でいちばん気候のよい季節です。お米をはじめいろいろなくだもの、野菜類のみのりの秋でもあります。

さて、今月のこよみは……

1日 赤い羽根共同募金が始まります。よろしくご協力ください。

4日 里親デー。

5日 山之上小の運動会。

7日 花嫁講座開講式（市役所）。

8日 老人のつどい（中央公民館）。

9日 小・三和、下米田小の運動会。

10日 体育の日、目の愛護デー。

11日 第三回市協同体育大会（ソフトボール・剣道・柔道・銃剣道・弓道・レーシング）が開かれます。

12日 身体障害者出張相談午前十時 中央公民館。お気軽にどうぞ。

14日 鉄道記念日。西部権益共同飼育所しゅん工。若妻講座開講式午後一時市役所三階会議室。

15日 家庭の日。西中の運動会。

17日 敬老会。

18日 貯蓄の日。伊勢神宮大祭。

21日 全国交通安全運動、全国読み切り安全運動始まる。

22日 商工会運動会。ライン公園。

23日 電話電話記念日。

24日 国連デー。国連週間始まる。

27日 読書週間始まる。

31日 全国物価統計調査始まる。

あなたは、おすみにになりましたか 結核健康診断

ことし第二回めのレントゲン車
が、次の日程で市内各町を巡回し
ます。昭和二十七年四月一日以前
に生まれた人で第一回め（七月・
八月に実施）に結核検査を受けな
かった人は必ず受けてください。
保険厚生課の調査によると、該
当者のうちとくに受検者の少な
かつたところは太田町と古井町で年
齢別では四十歳以上の方が圧倒的
に多い数字を示しています。
結核は、早期発見・早期治療す
ることが、何よりもたいせつです
が、近年結核による死亡の減少と
患者数の著しい減少によって「わ
たくしはだいじょうぶ」といった
安心感ができています。この安
心ムードが一番危険です。進んで
うけてください。



狂犬病予防接種

次の日程で、狂犬病予防接種を
行ないますから、飼育者は必ず接
種させてください。
料金は、予防接種料 二百六十円
登録料（新規）三百円
日 程

11月7日			
三和連絡所	9・30	伊深連絡所	10・10
加茂野連絡所	11・00	蜂屋連絡所	1・30
山之上連絡所	3・00	山之上連絡所	4・00

11月9日			
西中太田教室	9・00	市役所前	10・10
北川工務店前	1・30	今井鉄工所前	2・15
大栗公園前	3・00	大栗公園前	4・45

11月8日			
下米田連絡所	9・30	川合（西）付近	11・10
古井連絡所前	1・11	農協（古井）支所	2・45
農協（古井）支所	3・45	農協（古井）支所	4・45

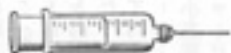
今月の納税

十月三十一日かぎり

市県民税 第三期分
国民健康保険料 第四期分
自動車税 第二期分

今月の当直医

日	月	当直医	電話
8日	古井医院	五二二五	五二二五
15日	木沢医院	五二二八	五二二八
22日	黒岩医院	六〇五二	六〇五二
29日	太田病院	五二〇五	五二〇五
5日	渡辺医院	五二六二	五二六二



秋の予防接種

次の日程で、秋の予防接種を行います
から該当する方は必ずうけてください。

料 金 三種混合、ジフテリヤ、麻疹は無料。小児マヒは60円
インフルエンザは、1歳未満30円、6歳未満50円、小中
学生70円、15歳以上100円

種別	と き	中 央 公 民 館	古 井 連 絡 所	下 古 井 公 民 館	山 上 連 絡 所	蜂 屋 連 絡 所	加 茂 野 連 絡 所	下 米 田 連 絡 所	伊 深 連 絡 所	三 和 連 絡 所
ジフテリヤ・混合 破 傷 風 菌 苗	1期 昭和42.1.1~6.30生 2期 昭和41.1.1~6.30生	1期 11.8 2期 2.00	1.30 2.00	1.30 2.00	1.30 2.00	1.30 2.00	1.30 2.00	1.30 2.00	1.30 2.00	2.30 3.00
種 痘	1期 昭和41.7.1~42.6.30 2期 35.4.2~37.4.1 3期 30.4.2~31.4.1	1期 11.30 2期 12.7 3期 12.7	11.29 12.6 12.6	11.29 12.6 12.6	11.28 12.5 12.5	11.28 12.5 12.5	11.27 12.4 12.4	11.27 12.4 12.4	11.24 12.1 12.1	11.24 12.1 12.1
インフルエンザ 生後3ヵ月以上の方 希望者全員	1期 11.15 2期 11.22	11.15 11.22	11.14 11.21	11.14 11.21	11.13 11.20	11.13 11.20	11.9 11.16	11.9 11.16	11.10 11.17	11.10 11.17
小 児 マ ヒ	1期 昭和42.1.1~6.30生 2期 昭和41.7.1~12.31生	1期 10.20 2期 2.00	1.30 3.00	1.30 3.00	2.30 3.00	1.30 2.00	1.30 2.00	3.00 3.30	1.30 2.00	2.30 3.00